

～健康診断で大腸がんが見つかった人の特徴から見えてきたこと～

2014年度 保健事業部の健診で大腸がんが発見された受診者の特徴を見てみました

表1 検査内容で大腸がんの発見人数

検査内容	一日法	大腸がん発見人数		合計人数
		早期がん	進行がん	
検便回数	一日法	6	6	12
	二日法	82	48	130
検診受診歴	初回	25	21	46
	1年前受診	56	29	85
	2年前受診	6	3	9
	3年前受診	1	1	2
過去3年間の検診での便潜血検査受診回数	0回	25	21	46
	1回	15	5	20
	2回	12	10	22
	3回	35	17	52
	4回以上	1	1	2

表2 発見された大腸がんに関連の見られた生活習慣

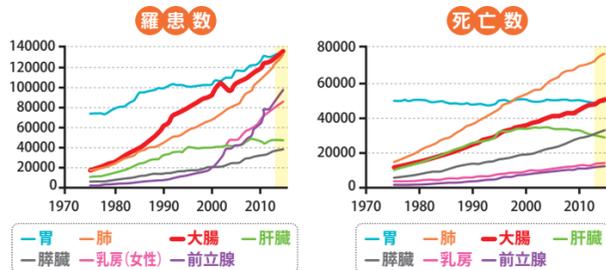
質問項目	回答	大腸がん発見人数		P
		早期がん	進行がん	
人と比較して食べる速度が速い	速い	11	32	.021
	普通	39	39	
	遅い	1	4	
1回30分以上の汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している	はい	23	20	.037
	いいえ	28	55	
	日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施している	はい	27	
いいえ	24	52		

検定方法: X<sup>2</sup>検定、有意水準5%

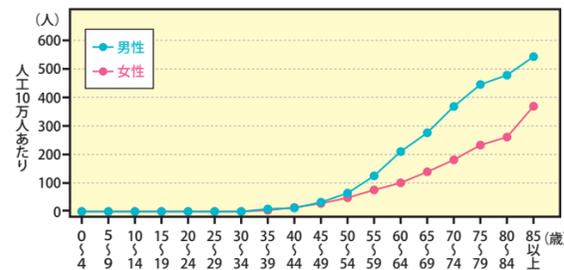
大腸がんの予防や早期発見には、以下のことが重要だということが分かりました

- ① 便潜血検査を毎年受けること
- ② 2日分の便で検査をすること
- ③ 運動習慣を持つこと
- ④ 食事はゆっくり食べること

ご存知ですか？  
大腸がんが増えているって!!



しかも、年齢が上がっていくごとに罹患率も高くなる傾向があるんです



大腸がんが増えているにもかかわらず、がん検診の受診率は低いのです…  
それに加えて、精密検査受診率も低いのが問題となっています。

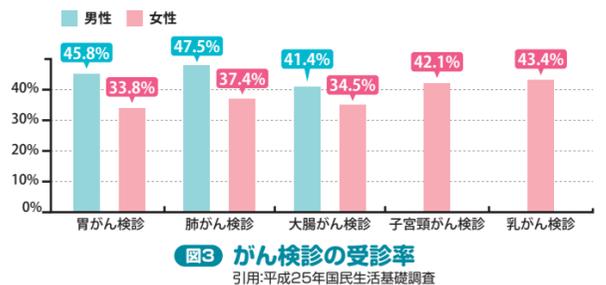


表3 精密検査受診率

	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精密検査受診率
日本対がん協会(2014年度)	2,490,927	154,840	104,843	67.7%

大腸がんは早期発見・早期治療で完治しやすいがんです。早期がんの5年生存率は、約90%と高いことから、早く見つけることが大切です。だからこそ、異常があったら精密検査をする事がとても大切なのです。

保健事業部で実施する精密検査

それぞれに長所・短所等がございますので、ご相談させていただきます。

● 大腸内視鏡検査  
検査費用 6,000～35,000円 (3割負担の場合 平均10,000円) 当日の所要時間 6～8時間  
※健康保険の種類、検査内容(組織検査やポリープ切除等)などによって自己負担金は異なります

● 大腸CT検査  
検査費用 7,000円程度(3割負担の場合) 当日の所要時間 約2時間  
※健康保険の種類などによって、自己負担金は異なります。 ※上記料金以外に検査代など約3,000円が必要です。  
※事前に検査食を取りに来ていただく必要があります。

巡回集団健診でお勧めの  
オプション血液検査のご案内

職場で決められた検査項目だけで安心していませんか?

地域・企業健診センター 健診看護課 田中 美香



希望に応じて当日でも検査を追加することができます!(事前に事業所担当者様と当センターの契約が必要になります)

PSA(前立腺特異抗原)検査

※採血がある方は追加採血はありません。

前立腺がんの早期発見のために!

前立腺がんは、50歳を超えると罹患率(がんにかかる割合)が急激に増加します。進行すると排尿障害などの自覚症状が出現しますが、初期には自覚症状がないことがほとんどです。

前立腺以外のがんでは、がんが進行して初めて血液検査に異常が生じることが多いため、血液検査での癌の早期発見は困難ですが、前立腺がんでは初期の段階からPSA値が上昇するため、検診がとて有効です。

● PSA(前立腺特異抗原)検査……3,500円(税込)

こんな方におすすめ

- ▶ 50歳以上の男性の方(血縁者で前立腺がんになった方がいる場合は40歳以上)
- ※ PSA値は、前立腺肥大症や前立腺炎などの良性疾患でも上昇するため、頻尿や排尿障害などの自覚症状のある方は、医療機関を受診しましょう

甲状腺機能検査

※採血がある方は追加採血はありません。

その体調不良、もしかしたら甲状腺が原因かも?

甲状腺は喉ぼとけ(甲状軟骨)のすぐ下にあり、甲状腺ホルモンを分泌しています。このホルモンは、エネルギー代謝を調節して細胞の活力を増加させるため、分泌が多いと動悸・イライラ感や汗をかきやすく痩せてきたなどの症状が出現し、逆に少ないと疲れ・だるさや手足のむくみなどの症状が出現します。しかしいずれの症状も甲状腺の病気以外でも出現するため、甲状腺が原因と気づかずにいることがよくあります。血液検査でのコレステロール値の異常や心電図異常の原因となることもあります。

甲状腺ホルモン(F-T3、F-T4)と甲状腺ホルモンの分泌を調整している下垂体ホルモン(TSH)を測定します。

● F-T3、F-T4、TSHのセット……3,500円(税込)

こんな方におすすめ

- ▶ 体調不良を感じるが、原因がわからない方
- ▶ 血縁者で甲状腺機能異常の方がいる
- ※ 首のふくらみが気になる方は、医療機関を受診して超音波検査をうけましょう

ヘリコバクター・ピロリ抗体検査

※別途、採血管1本分を追加で採血します。

胃がん検診の対象年齢じゃなくても一度は受けておきたい!

日本におけるピロリ菌の感染率は特に高いと言われ、ピロリ菌は慢性胃炎や胃潰瘍・十二指腸潰瘍、胃がんの主たる原因となります。

ピロリ菌に感染していれば除菌治療することで、胃がんにかかりにくくするとされています。(なるべく若い時に治療した方が、胃がんの予防効果が高いといわれていますので、胃がん検診の対象年齢に達していない若年者においても、一度は受けておきたい検査です。)

ヘリコバクター・ピロリ抗体を測定して、現在のピロリ菌の感染状態を調べます。

● ヘリコバクター・ピロリ抗体検査…3,000円(税込)

こんな方におすすめ

- ▶ 胃腸の調子に不安がある方
- ▶ 胃や十二指腸潰瘍の経験がある方で、除菌治療をしたことがない方
- ▶ 一度も検査したことがない方
- ▶ 血縁者で胃がんになった方がいる
- ※ なお、胃を全部摘出した方、除菌歴のある方にはお勧めできません

問い合わせ先 地域・企業健診センター 運営管理課 ☎ 053-439-8279 (平日:8:30～17:00)